

No. 181 (2022. 1 月号)

会報 かなづ

発行者：金津コミュニティ振興協議会
発行人／青木貞義 編集／総務部
URL: <https://www.kanazu.jp/>

事務局

住所 〒956-0847
秋葉区古津 597 番地
TEL 0250-25-1101
メール kanadukomikyo@tune.ocn.ne.jp

金津地区人口

世帯数 2,971 戸 (2909 戸)
人口 6,913 人 (6937 人)
男 3,373 人 (3380 人)
女 3,540 人 (3557 人)
2021. 11 月末現在 (2020. 11 月)

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご家族ともどもお健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶びを申し上げます。皆様には、旧年中、真摯かつ積極的に金津コミュニティ振興協議会の活動をご支援いただき厚くお礼申し上げます。

願いますと、昨年は新年早々の豪雪、一昨年来のコロナ禍によるコミュニティセンターの臨時休館など、まさに激動の一年でした。

今年も、役員一同一致協力し、皆様の期待と信頼に応え、安心安全な地域作りに一層推進して参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

おわりに、新型コロナウイルスの一日も早い収束を願いますとともに、金津地域の住民の皆様のご健勝とご多幸を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

金津コミュニティ振興協議会
会長 青木貞義

文化教養部

第 4 回ふるさと塾「金津の里あれこれ懇話会」のご案内です！
「金津における信仰 その 2」



今回は「金津の里あれこれ」第 54 集、小川重蔵さんの著作より取り上げます。旦飯野神社、堀出神社、東島八幡宮など各地域にある神社を取り上げ、由緒ある神社の成り立ちを探ります。

◆日時：令和 4 年 (2022) 1 月 29 日 (土) 13 時 30 分～

◆場所：金津コミセン 中ホール

金津コミ協

金津コミュニティ振興協議会「Youtube (ユーチューブ) 動画」のご紹介です！

アップロード動画 ▶ すべて再生



令和 3 年度、「金津コミュニティ振興協議会」専門部の活動状況をデジカメ画像利用し、スライド画として作成しました。これを「Youtube (ユーチューブ) 動画」に登録しました。検索は、金津コミュニティ振興協議会と入力し、ご覧ください。

金津コミ協

金津地区コミュニティセンター職員を募集します。



応募ご希望の方は、履歴書（写真貼付）を金津地区コミュニティセンター事務室に提出してください。

◆申込期間：令和3年（2021）12月17日（金）～

令和4年（2022）1月30日（日）迄

◆募集人員：1名

◆職種：金津地区コミュニティセンターの施設管理業務及び事務処理

◆採用期間：1年 令和4年（2022）4月1日～令和5年（2023）3月31日迄
更新制度あり 最長5年

◆条件：下記の通りです。

①金津地区の居住者であること。②健康でコミュニティ活動に理解があること。

③パソコンのワード・エクセルの基本操作ができること。

◆勤務：4週8休 交代勤務

①早番 午前8時30分～午後3時00分迄 ②遅番 午後2時45分～午後9時15分迄

③日勤 午前8時30分～午後4時30分迄

◆休日：月曜日、祝祭日及び年末年始。 ◆給与：コミ協規定による。

◆採用：採用可否については、面接の上決定し、郵送にてご連絡致します。

◆電話：0250-25-1101

※詳細は金津地区コミュニティセンター事務室まで問い合わせください。

地区社協

地域の茶の間「いっぷく」を開催いたします。

地域の茶の間「いっぷく」を開催いたします。

今回は体操を行います。

体操にふさわしい準備をして参加して下さい。

◆日時：令和4年（2022）1月20日（木）10時～

◆場所：金津コミセン 中ホール



図書室

読み聞かせの時間だよ！



あけましておめでとうございます。

今年も色々なお話と一緒に楽しみましょう。

どなたでも大歓迎です。

◆日時：令和4年（2022）1月15日（土）14時から14時30分

毎月第3土曜日

◆場所：金津コミセン 和室B ◆電話番号：0250-22-0097

◆問い合わせ：新津図書館 金津よみきかせの会

金津コミ協

「各村落の地名、各村落の歴史」「古津」について！

古津の開発はいつ頃からか、これを知るべき資料がない、しかし文禄（1594年）の検地帳にも、また正保図付録石高帳（1644年）にも「古津」が記載されている、開発は今から400年前であることは間違いない。

この村に「舟戸」という字名のあることや、「字南保」には舟つなぎの松という大木があった、というような言い伝えがある。「古津」が船着き場であったことが想像できる。

（以上は、新津市史より抜粋して引用しました）

※「津（つ）」とは、海岸・河口・川の渡し場などの船舶が停泊するところ。船着き場。

（日本国語大辞典「津（つ）」の解説より抜粋しました）